

平成 26 年 3 月 17 日

熊本市長 幸 山 政 史 殿

住所 熊本市中央区
団体名 NPO法人日本防災士会・熊本県支部
代表者 職名 支部長 氏名 宮 下 正 一 印

熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成25年4月1日付け指令(市協)第3-6号により平成25年度熊本市市民活動

支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1、助成事業名

地域市民とNPOを活用するまちづくりの人材養成講座

2、助成事業の実施期間

平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 15 日

3、助成事業の内容

DIG(災害図上ゲーム)・HUG(避難所運営ゲーム)を年7回開催し、“自助”“共助”“公助”を想定して、災害に対する心構えについて、熊本市内の自治会や町内会を重点に災害に対する啓蒙に努めました。

4、事業の成果

熊本市内全域の自治会や町内会及び一般市民の地震・大雨・台風・竜巻等の自然災害に対する危機管理の関心度はとても高く、「自分の命は自分で守る」「自分の安全は自分で守る」という防災・減災に対する危険意識・知識・認識度を習得する人々が沢山おられました。防災士会としては、今後もDIG・HUG巡回出前講座を積極的に進めたいと思います。

5、助成事業の実施状況

別紙により報告します。

(1) 事業収支決算書（様式第16号）

別紙により報告します。

(2) 事業の経過又成果を証する書類等

別紙により報告します。

(3) その他参考となる資料

- 1 平成25年度熊本市総合防災訓練に参加協力(5月15日)
- 2 第34回くまもと市民ボランティア週間実行委員会に参加(8月2日)
- 3 第17回熊本市中学生による子ども議会を傍聴(8月6日)
- 4 災害ボランティア研修会に参加(9月29日)
- 5 「熊本市告知わくわく基金」広報活用の為、TKU「英太郎のかたらんね」番組に出演(10月30日)
- 6 地域防災セミナー地域減災力 啓発シンポジウム(11月8日)
- 7 学校防災アドバイザー活動の実施(11月18日)
- 8 くまもと市民ボランティアパレードに参加(11月23日)
- 9 HUG(避難所運営ゲーム)のKABくまパワ(ニュース&報道ライブ)番組の撮影(3月6日)
- 10 避難訓練コンサートに防災士会員の参加(3月18日)

事業報告書

平成 25 年 度	
事業名	地域市民とNPOを活用するまちづくりの人材養成講座
目的	地震・大雨・台風・竜巻等の自然災害がいつ・何処で発生するか解らない日常生活の中で、もし不測の事態が発生した場合には、「自助」と言って「自分の命は自分で守る。」「自分の安全は自分で守るのが防災の基本」と言われています。災害時に命を失くしたり、大ケガをされたら、家族や隣人を助けたり災害時要援護者の支援活動も自然災害から守ることも出来なくなります。その為に防災・減災に関する知識と技能を習得し、絶えずスキルアップに努めて被災地支援・復興支援活動を実施することが目的です。
事業期間	平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月
具体的内容	①平成25年6月29日(土)熊本市東部公民館に一般市民10名・防災士12名合計22名に対して、HUG巡回出前講座を実施した。その時の参加者の意見として、「災害に対する心構えが事前に分かった」と意見が出て好評で有った。 ②平成25年7月1日(月)熊本大学工学部3回生35名に対して、HUG巡回出前講座を実施した。その時の生徒の意見として、「ゲームに参加して勉強に成りました。今後防災の意識を高め一人でも多くの人に伝えて行きたい。」と意見があった。 ③平成25年8月21日(水)帯山西校区に町内会から18名が参加されて、避難所マニュアルの勉強会とDIG研修を実施して、一時避難場所や広域避難場所・避難勧告・避難指示等を詳細に亘り習得された。 ④平成25年8月25日(日)帯山西コミュニティセンターに町内会から27名と帯山西小学校の管理者の方も参加されHUG巡回出前講座を実施した。 ⑤平成25年9月29日(日)熊本市あいぽーと会議室において、一般町内会員とあいぽーと職員合わせて18名参加されまして、HUG巡回出前講座を実施した。「災害時にどうゆう対応をするのか解った」と意見が出ていた。 ⑥平成25年11月3日(日)熊本市南部在宅福祉センター2F多目的ホールに上ノ郷町民60名参加されまして、当地区は軟弱地盤の為、地震対策等を交えて、HUG巡回出前講座を3時間に亘り防災訓練を実施した。 ⑦平成25年2月22日(日)熊本市植木町文化センター多目的ホールにおいて植木町民60名及び地区防災クラブ又熊大「熊助組」20名・県立大学生50名参加しまして、DIG(災害図上訓練)を盛大に実施して、訓練終了後アルファ米とブタ汁を使った避難訓練も合わせて実施した。「今年から自主防災クラブを立ち上げるので、このような研修会にどんどん参加して行きたい」と思います。と意見があり又「初めての参加でドキドキでしたが若い学生さんの力を借りて楽しくできましたので、次回も参加します」との意見もありました。
活動場所	熊本市中央区・南区・北区の3地区を実施。
期待される効果	DIG・HUG巡回出前講座を受講されていない方がまだまだ沢山おられることを確認できまして、この講座を自治会や町内会に浸透する為には、あいぽーとでの広報活動や各種の機関に広報活動を実施して、又当防災士会も会員を活用しDIG・HUG巡回出前講座を多くの市民等に広げるように又積極的に開催出来るようにしたいと思います。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	72,500	会員年会費
	市民公益活動支援助成金	110,000	当該事業助成金交付決定額
	その他の補助金・助成金		
	寄付金・協賛金	20,000	個人寄付金
	その他		
	計	202,500	
支 出	助成対象経費	報償費	70,000 講師・謝礼10,000円×7回
		役務費	99,422 DIG・HUG用資料印刷代
		使用料 賃貸料	4,000 会場使用料(冷房代含む)
		備品費 消耗品費	18,770 事務用品一式(HUG用品詳細は別紙参照)
		旅費	
		その他	
		小計	192,192
	助成対象外経費	飲食費	10,308 受講者地区役員の弁当代 12人×625円 お茶代 2,808
		その他	
		小計	10,308
		計	202,500